

令和8年度学校自己評価システムシート (県立浦和高等学校 定時制課程)

目指す学校像	社会的自立を目指し、未来を拓く誠実な青年を育成する
--------	---------------------------

重点目標	1 定時制の生徒に合致した「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業に組織的に取り組む。 2 地域の多様な人材等の外部教育力や支援制度を活用してコミュニケーション能力を育み、社会的な自立心を育成する。 3 組織的なキャリア教育・進路指導に取り組み、進路決定に導く。 4 組織的かつ計画的に、日々の教育活動を発信し、開かれた学校づくりを進める。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	義務教育段階の学習で充実感を味わった経験が多くはなく、学習内容が十分には定着していない生徒が多い。また、学習と自分の将来を結び付けていない生徒も見受けられる。充実感や成就感を味わえるよう個に応じた指導と、自己評価しやすい授業を展開することで基礎学力を定着させると共に、AI時代に対応する思考力や姿勢を育成する必要がある。	①「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業等の実践と改善に向けた取組 ②外部支援者を活用した細やかな学習支援	①学習等の目標を提示し、生徒自身が到達度を認識できるような授業を、ICT機器の活用など工夫して分かりやすく展開する。この際、すべての授業等で評価の観点として思考の過程と自身の生き方との関連を意識させることを重視する。 ②日本語支援員、学習サポーターを効果的に活用する。	①アンケートの「授業への参加状況」、「授業の理解度」の肯定的数値が8割以上か。 ②アンケートの「日本語支援員や学習サポーターがいるときの学習意欲」の肯定的な回答が7割以上か。			
2	成育歴や学習歴から生徒が抱える課題が多様であり、それらに対応しながら学校生活を通じて社会性を身につけさせることが求められている。外部教育力を活用したソーシャルスキルの育成が必要である。	①外部専門職と連携した様々な状況の生徒に対応できる体制の維持 ②教育活動における各種教育支援の活用	①特別支援教育コーディネーターやSC、SSW、各種支援機関と連携し、個別面談やケース会議等を実施する。 ②多様な文化的背景を持つ生徒への対応として、開設2年目の「日本語」と日本語支援員の活動が良好な相乗効果を生むよう活用する。	①専門職のアドバイスを参考に時期・状況に適した面談等を展開したか。また、定期的な生徒情報交換会を実施したか。また、アンケートの「人間関係」の肯定的意見が8割以上か。 ②始業前の日本語勉強会への参加率や日本語検定等の受験状況は向上したか。			
3	様々な理由により生徒の進路意識の高揚は十分ではなく、将来の夢ややりたいことを見つけられない状況もある。生徒の進路支援を充実させ意識の向上を図るとともに、自ら課題を設定し取り組むことで「主体性」を養うことが期待できる「浦定チャレンジ」の充実が望まれる。	①「4年間を見通した系統的なキャリア教育・進路行事の設定と実施による進路意識と進路決定率の向上 ②浦定チャレンジ」の活用	①外部教機関も活用したキャリア教育を推進し、社会体験活動や職業体験、進路講演会を実施する。この際、学年を超えた集団で相互に学びあう機会も設ける。 ②「浦定チャレンジ」の具体的な活用を機会あるごとに示し促す。	①アンケートの「進路意識向上」の肯定的意見が7割以上か。また、就業体験した生徒が半分程度いたか。 ②アンケートの「浦定チャレンジ」で9割以上の生徒が取り組んだと回答したか。			
4	本校の活動や魅力をHPで発信している。この情報は中学生やその保護者には好評である。一方、在校生の保護者は子供の学校での活動状況や様子を知りたいとの声が多いと共に学校との直接的な情報共有を望んでいる。	①中学生や保護者を始め誰もが見やすい学校からの情報発信の実施 ②保護者参加型の行事企画の充実	①学校HPでの情報発信を維持する。 ②保護者会や給食試食会など保護者参加行事を増設し、実際の教育活動への理解を深めてもらう。	①HPの更新は50回以上行ったか。 ②保護者参加行事を増設したか。また、保護者会参加者アンケートでの肯定的意見が8割以上か。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

